

矢沢たけひこ

まっすぐ
安曇野に全力！

《矢沢たけひこ後援会》

〒399-8205 長野県安曇野市豊科5184-4

携帯 090-9357-0802

Eメール takehikoyazawa0802@yahoo.co.jp

日々の活動や議会報告を
FacebookやYoutubeでお知らせ
しています。下のQRコードまた
は検索してご覧ください。



活動報告レポート 2025年第2号

矢沢たけひこ

検索



お世話になっております。安曇野市議会議員の矢沢たけひこです。
今号では令和7年3月議会の報告を主にさせていただきます。

例年、3月議会は予算議会という事で、令和7年度の市の予算につ
いて審議をし、502億円余りの予算案を承認可決いたしました。3年連
続で過去最高額とのことです。今年は安曇野市合併20周年という事で、
それを冠した様々な行事も計画されております。

その一方で、認定こども園の園舎建設など、これまで多くの事業に利
用してきた「合併特例債」の期限が今年度までとなっており、来年度
からは予算をどう振り分けるのかの取捨選択が迫られ、多少シビアな
予算体制になるのでは、とも考えるところです。

季節の変わり目です。皆様、くれぐれもご自愛ください。



SNSからピックアップ！ 活動いろいろ



2/26

ピンク色のアイテムを
身につけ、いじめ反対
の意思表示をする国際
キャンペーン、ピンク
シャツデー。昨年の6
月議会で参加を提案し
たところ、県内で初め
て安曇野市の参加が実
現！もちろん個人とし
ても参加しています。



3/18

松本広域消防局で、先
ごろ更新された通信指
令システムを見学させ
ていただきました。
松本広域の110番、119
番は全てコチラの指令
室にかかってきて、各
署へ連絡がいきます。
現場を見ると状況がよ
くわかります。



3/19

3月議会の閉会日。若
手4人で、正副議長に
申し入れをさせていた
だきました。内容は、
字幕表示モニターの高
さ変更について、議会
SNSアカウントの作成
取得について。
若手の4人だから言え
ることかと思います。



4/6

市内で道路標識が倒れ
てる箇所を発見。担当
課に連絡したところ、
把握していない件とい
うことで、ご対応いた
だきました。
安曇野市公式LINEから、
道路や標識の損傷・不
具合の連絡はどなたで
もご連絡いただけます。
もちろん、矢沢に連絡いただいてもOKです！

○1985年(昭和60年)8月2日、安曇野市豊科生まれ。同地在住。

○細萱保育園、豊科北小、豊科北中、松本筑摩高(昼間定時制)、中京学院大学経営学部、
中央大学大学院(公共政策研究科)を経て、都議会議員秘書。

○地元郵便局や民間勤務を経て、令和3年10月に安曇野市議会議員初当選。

○安曇野市消防団第2分団所属(11年目)

◆市議会での役職◆(令和5年9月以降)

【常任委員会】 福祉教育委員会

【特別委員会等】 議会広報特別委員会 副委員長、議会改革推進委員会、議会ICT研究会 会長

【一部事務組合議会等】 安曇野松筑広域環境施設組合議会、安曇野・松本行政事務組合議会、松本広域連合議会

親バカバカ/「かわいいは正義」って本当でした。娘の笑顔にやられてます。妻には深く感謝。

趣味/写真撮影、ドライブ 家族/妻、娘(昨年9月に誕生しました!)、96歳の祖母、父、母、妹



応援団募集中
詳細はQRコードから



高額療養費制度について

議員提出議案「高額療養費制度改正について撤回を求める意見書」について、多くの議員がその賛否について討論に立ちました。意見書にある「撤回」という言葉について、この状態での撤回とはどういう扱いを意味するのか、議員の認識がバラバラであったことも議論が白熱した一つの原因かなと思います。

矢沢たけひこは、賛成の立場で討論をさせていただきましたが…この討論の前日あたりに石破首相が”凍結”を発表したタイミングでした。

私は「医療費の増加の為に制度改革の必要性はあると思うが、高額療養費制度改正についての議論そのものを今回の俎上から一旦外し、首相が言うように、議論を重ね、団体や患者本人などの当事者と話をし国民理解を促すのとあわせて、療養制度関係の効率化などにも取り組み、その上で再度提出され議論されることを望む」という気持ちと趣旨で討論に立たせていただいた次第です。



矢沢たけひこの一般質問

市内上下水道管の状況について 市民の安全安心に寄り添う対応を

埼玉県八潮市他で発生した上下水道管の破裂事故に関連して質問しました。安曇野市が管理する上水道配水管の総延長は、令和5年度末現在約1,137キロ。そのうち、最も古い管は、今年末で58年が経過。下水道管の総延長は令和5年度末現在約857キロ。最も古い管は令和6年度末で33年が経過すること。現在のところ、上下水道管において市民生活に影響するような破損は発生していないとのこと、ひとまずは安心しましたが、法定上やスペック上の耐用年数に至る前に予期せぬ事故も起きるかもしれません。引き続き、点検やいざというときの補修に備えての体制づくり、研究を担当課にお願いしました。



新聞にも
載りました！

安曇野の魅力を発信する新たな方策について

安曇野市を認知してもらう、興味を持ってもらうためには、とにもかくにも話題性を持つことが重要です。加えて、いろんな年代や層に刺さることがやはり大事。その観点から、LINEスタンプの作成、信州まつもと空港のチャーター便就航や利用補助、「じゃらん」や「るるぶ」などと連携したご当地フリーペーパーの作成、大使の増強などを提案させていただきました。残念ながら答弁は厳しいものでしたが、LINEスタンプについては「安曇野市の魅力を発信する手段として、先行自治体を参考に研究する」との答弁もありました。



「子育てしやすいまち」の実現について

多くの方から声をいただく屋内遊戯施設、赤ちゃんの駅事業、災害時の授乳設備、授乳やおむつ替え可能な施設の検索サービス、児童クラブの冬季利用などについて質問しました。

児童クラブの冬季利用について、農業を営む祖父母が同一学区内に住んでいると、農業閑散期の冬季だけ児童クラブに預けることができません。様々な理由で祖父母に見守りをお願いできない場合も考えられるため、見直しを提案しました。市からは「施設の規模や人員の配置などもある関係から、段階的にできるところから緩和をしてまいりたい」とのこと。今後の対応を注視してまいります。



質問や答弁の詳細は議会中継をご覧ください。下のQRコードからアクセスできます。



令和7年度安曇野市一般会計予算ピックアップ質疑

3月10日福祉教育委員会内、保健医療部への質疑
(翌日に東日本大震災のあった3.11を控え、1人の父としての観点もあわせて質問しました)



安曇野市でも原子力災害に備え、安定ヨウ素剤（原子力災害時に放射性ヨウ素による甲状腺への被ばくを阻止・抑制するために使用される薬）の備蓄がされているが、その管理委託先は？備蓄量は？更新体制は？



管理委託は市薬剤師会、40歳以下の人口を想定した分を備蓄している。有効期限内に更新していく形で保管している。



40歳以下ならば、子どもや乳幼児にも与えるものかと思う。赤ちゃん・子ども用にゼリー剤のものもあるが、それらは備蓄されているか。また、2019年に国の指針改正で安定ヨウ素剤の有効期限の延長が認可された。安曇野市地域防災計画の記載内容は改正前のままだが。



現在は備蓄していない。分包のみ。期限の延長という事であれば、費用減にも繋がる。ゼリー剤、有効期限の延長についても含めて確認し調査研究していく。

